

【議会報告会】

○市立四日市病院は、医師の異動が頻繁であり、優秀な医師がすぐになくなることは問題であると感じている。

⇒議員 当院の医師については、大学の医局を通じた人事交流を行っているため、それに伴う医師の異動が発生する。病院長が医局とも絶えず連携を取り、医師の補充の要請等を行っているが、医師の研修等、医局の事情もあるため、やむを得ない部分がある。

○診療に当たっては、医師や看護師の対応が他病院と異なると感じる。医師や看護師がもう少し患者に寄り添う姿勢を見せなければ、患者数の減少につながるのではないか。

⇒議員 平成 26 年度の患者数は、予算編成時の想定を下回っている。ご意見を真摯に受け止め、当委員会からも病院側に申し伝えたい。

○高精度放射線治療棟の整備に当たって、放射線科医師の確保はできているのか。

⇒議員 当院には、常勤の放射線科医師はいないため、大学等に常勤医師の確保について働きかけを行っている。なお、常勤の放射線技師は配置されている。

○医師の確保について、すでに診療のできていない科がある。市民は当院を頼りにしているため、病院としてももう少ししっかりした体制を整える必要がある。当院へ期待することとして意見を伝えていただきたい。

⇒議員 いただいた意見を病院側へ伝えさせていただく。

○6月定例会議会において、ジャスコA館跡地の活用に係る予算が否決されたことは残念であると感じるが、どのような理由で否決されたのか。

⇒議員 個人的な意見であるが、使用できるスペースが限られていた上に、スピーカー等の利用ができないこと、また、普段の人通りが少ないところに立地していたことといった諸条件を勘案して反対した。

○少子高齢化の時代において、中心市街地の各エリアにおいて、具体的にどのように活性化に取り組んでいくのか。また、中心市街地活性化推進方策調査検討事業に係る検討会議については、学識経験者等のみではなく、長期にわたって本市に住んでいる人や本市に詳しい人の意見も取り入れながら進めてもらいたい。

⇒議員 中市街地については、どのような手法で活性化できるかは難しい問題であると考ええるが、施設整備を行うことが必ずしも活性化に寄与するとは限らないと考えている。

⇒議員 中心市街地には4つの商店街振興組合があるが、これらが一つにまとまり、周辺自治会や学生等の知恵も取り入れ、商工会議所や市とともに中心市街地の将来に向けたビジョンを示していくことが重要であり、その後に具体的な予算執行に当たるべきであると考えている。

⇒議員 全国的に中心市街地が衰退していく中、中心市街地に公立病院の薬をもらえる場所や、介護の相談ができる場所を立地させることで活性化に成功している事例もある。中心市街地は何のために、誰のためにあるべきかという視点を持って活性化に取り組む必要があると考える。この課題解決に向けては、有志の議員連盟を組織しており、市民の知恵も借りながら取り組みを強めていきたいと考えている。

⇒議員 JR四日市駅周辺の商店街は、改修に向けた動きもあったものの進んでいない状況である。何が問題であるのかを認識し、関係者とも意見交換を行いながら前へ進めていきたい。また、当駅周辺には広い市有地があるため、その土地の有効活用についても検討していきたい。近鉄四日市駅周辺については、さらなる空きビルや空き店舗が発生しないよう努め、今定例月議会で議決された調査費も有効活用しながら再開発に向けた取り組みを行っていきたい。

○防災や、ゴミ問題、高齢者の見守り等について、自治会の果たす役割は非常に大きいと考えるが、現状は、自治会加入率が伸び悩んでいる状況にある。原因については、集合住宅の加入率の低さもあると考えるが、現状をどのように改善していくのか。

⇒議員 自治会加入率の伸び悩みについては、住民が加入に対するメリットを享受しきれていないということが一つの原因であると考えているが、詳細な原因の分析を行っていく必要がある。ご指摘のとおり、自治会の果たす役割は非常に重要であると考えており、三重県宅地建物取引業協会とも協定を締結し、自治会加入の促進に向

けた取り組みを行っているものの、任意加入団体であるとの自治会の性格が根本にあり、解決の難しい課題となっている。

【シティ・ミーティング】

○就労コーディネーターの活動はどのようなものか。

⇒議員 商工農水部に、雇用対策の一環として、市内高校の教員OBが就労コーディネーターとして配置されており、高校生の就職にかかる課題の解決に向けて、学校及び企業間の橋渡しを行っている。

○就職後に、種々の課題から退職や転職を希望するケースがあるが、ハローワークにおいては、退職前の段階では相談に応じてもらえない。名古屋市等では、転職希望者の相談や転職先のあっせんに応じる機関も見られるため、本市においてもそのような対応について検討してもらいたい。

⇒議員 意見として、担当部局に伝えさせていただく。

○四日市市企業立地促進条例が本年3月31日限りで失効しているが、企業立地奨励金交付事業について期間延長等を行っているのか。

⇒議員 条例の改正に伴い、当事業についても期間が延長されることとなった。

○買い物拠点の維持・再生に向けて、福祉バス等を活用することはできないのか。

⇒昨年度、水沢・桜間においてコミュニティバスの無料実験が行われており、今年度末には有料実験が行われる予定である。さらに地区の声を拾いながら、場所を変えて社会実験を行うことも想定されており、本市において、コミュニティバス普及に向けた機運が高まりつつある。

○鳥獣被害防止対策について、カラスの糞害がひどくなっているため、駆除に向けた対策は行っていないのか。

⇒議員 カラスの糞害の多いところについては、電力会社が電線にカラスを止まりにくくするなどの対策を取っている場所もある。また、県地区において、カラスの駆除に力を入れているところもあるため、あまりに糞害の酷い場所については、行政側と

も相談して対応していく必要がある。